

2020年7月31日

東北経済産業局

「J-Startup TOHOKU」を開始

～東北地域が一体となったスタートアップ・エコシステムを構築・強化します～

東北経済産業局は、仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会と連携し、J-Startup プログラムの地域版である「J-Startup TOHOKU」を開始します。今後、東北各地に所在するユニコーン候補やキラリと光るスタートアップ企業を選定し、官民の力による集中的な支援を通して、飛躍的な成長を応援します。

1. 概要

経済産業省では、「2023年までにユニコーン等を20社創出」という政府目標を達成するため、2018年6月に「J-Startup プログラム」を開始しました。これまでに140社を「J-Startup 企業」として選定し、集中的な支援を行っています。

※ユニコーンとは、企業価値又は時価総額が10億ドル以上となる、未上場ベンチャー企業。

また、2020年7月15日より、スタートアップ企業支援のエコシステムを地域経済の活性化に繋げるため、経済産業省として、内閣府のスタートアップ・エコシステム拠点形成事業とも連動し、「J-Startup プログラム」の地域展開を開始したところです。

(参考) J-Startup プログラムを地域に展開します！(経済産業省ホームページ)

<https://www.meti.go.jp/press/2020/07/20200715004/20200715004.html>

今回、内閣府からスタートアップ・エコシステムの「推進拠点都市」に選定された仙台市と東北経済産業局が中心となり、「J-Startup TOHOKU」を立ち上げます(30～50社程度の企業を選定予定)。

今後、東北各地に所在するユニコーン候補やキラリと光るスタートアップ企業を、官民が集中的に支援する仕組みを用意します。この取組を通して、東北地域が一体となったスタートアップ・エコシステムを構築・強化していきます。

2. 企業の選定

スタートアップ企業支援に携わっている関係機関からの推薦(公募)を行い、所定の審査後、「仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会」が承認・選定します。推薦(公募)の詳細については、決まり次第、公表いたします。

なお、企業の選定基準は、以下を予定しています。

◆形式要件

東北6県に事業所が所在する(もしくは開設予定がある)こと

※インキュベーション施設等への入居を含む

◆評価ポイント(要件)

①理念・ミッション

事業性と社会性(SDGs に掲げる社会課題解決など)を両立する理念・ミッションを掲げていること

②成長性

VC等からのエクイティ出資や融資など、短期間での事業の急成長のための積極的な資金調達を行っていること

③国際性

海外展開が見込める事業であること

④新規性・独創性

事業に新規性や独創性が認められること

⑤優位性

事業に比較優位性が認められること

※①～③は必須要件。④及び⑤は、いずれか1つ必須要件。

3. 選定企業への優遇(予定)

- ・ロゴの使用
- ・既存のJ-Startup サポートーズ(地域サポートーズへの参画を希望する企業)による支援
- ・規制制度改革ツールの優先利用、既存支援ツールの最大限の活用支援
- ・東北独自に募集した地域サポートーズによる支援
- ・特設サイトでの企業紹介
- ・仙台市がブース出展するスタートアップ関連イベントへの優先招待
- ・仙台市主催アクセラレーションプログラム等の起業支援制度での優遇(審査免除等)
- ・仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会会員による支援

※その他、順次追加

<J-Startup TOHOKU ロゴ>



J-Startup
TOHOKU

(本発表資料のお問合せ先)

東北経済産業局 産業支援課長 三瓶

担当者: 布施、石山

電話: 022-221-4882(直通)

FAX: 022-265-2349